

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Since 2007



写真：ヒグラシ（山本征弘氏提供）

海上ごよみ

暑さにも負けずセミが元気よく鳴いています。

8月
・サギソウやミミカキグサが咲き始めます。

9月
・月見の宴が開催されます。

10月
・アキアカネが飛び始めます。



この人!

海上の森への想い

よりあい工房ぱんどり 酒井立子さん

特集 海上の森はいま

あいち海上の森大学が開校しました

モニタリング 1000 ちょう類調査 速報!

海上の森の発行物を紹介します

「海上の森・体感ユニバーサルプログラム マニュアル集」

海上の森において、障がいのある方や高齢者の方も含めて、誰でも一緒に参加でき、交流を図りながら、海上の森を丸ごと体感できる活動をまとめた「海上の森・体感ユニバーサルプログラムマニュアル集」を作成いたしました。

ここに掲げたプログラムを「ユニバーサルプログラム」としたのは、障がいのある方や高齢者の方を含む、あらゆる人々に気楽に参加してもらえるように考えたからです。このプログラムを、海上の森や身近な自然に対する理解や関心そして親しみを深め、これからの人と自然との関わりや持続可能な社会を築くためのきっかけづくりに役立てていただきたいと思います。

発行：ムーアカデミー、全 112 ページ、A4 サイズ *この冊子は販売していません。当センターのライブラリーにて閲覧できます。



特集 海上の森はいま



あいち海上の森大学が開校しました

2008年7月13日、あいち海上の森大学開校式が愛知県立大学多目的ホールにて行われました。

海上の森大学は、愛知万博の理念や成果を継承し発展させるための、海上の森を舞台とした人材育成機関です。本年度は森林再生コース19人、国際交流コース6人、里山文化コース27人の3コース、計52人が意欲と希望を胸に入学しました。

開校記念講演は、森林ジャーナリストの田中淳夫氏をお招きしました。様々な現場を歩き、見聞きしている森林ジャーナリストとしての立場から、全国各地の事例を交えてのお話でした。「人は自然がなくはないと困る。じゃあ自然は人がいないとどうか？」という問いかけから、種の多様さでいうと原生林よりも私達の身近にある雑木林のほうが豊かであり、その雑木林は人の手入れあってこそ

のもの、人にとっても自然にとってもお互い関わりあっていくことが望ましい姿であると話されました。これから森林、里山について学んでいく大学の開校式にふさわしく、受講生の方の学ぶ気持ちも高まったことでしょう。

海上の森大学入校生は、12月7日の閉校式までに、13日間（国際交流コースは4日間）の講義や実習を受講し、森林や里山を軸として、人と自然の関わりについて探求していきます。



モニタリング 1000 ちょう類調査 速報！



「モニタリング 1000」とは環境省が実施している重要生態系監視地域モニタリング推進事業の略称で、動植物の生息状況および生息環境を長期的にモニタリングすることを目的としています。海上の森では、植物相、鳥類、夜行性動植物、指標種調査(ちょう類、ホタル類)について調査が始まりました。海上の森の会が主体となってモニタリング 1000 の調査を行ってくださっています。今回は、調査において中心的な役割を担っていただいている山本征弘さんにちょう類調査の結果速報をしていただきます。

山本さん：環境省が今後100年間にわたって動植物の生育状況を調べる「モニタリングサイト1000」のコアサイト（主要調査地）に海上の森が指定され調査が始まりました。

4月より始まりましたちょう類調査の中間報告です。4月30日を第1回目としその後毎月第1、第3火曜日の9時に始め、12時ごろ終了。種類や数は季節、天候、気温などに左右されますが雨天時は極端に少なくなります。

調査回数7回、確認した種類47種、総数745頭。ベスト5は①ヒメウラナミジャノメ172頭 ②コムスジ77頭 ③ルリシジミ66頭 ④モンシロチョウ49頭 ⑤コチャバネセセリ44頭。種類のベスト3は①4月30日30種 ②6月17日23種 ③5月7日20種。

調査中印象に残ったちょうの雑感です。

ナガサキアゲハ：地球温暖化の象徴のようなちょうで10年ぐらい前までは九州、四国に生息するのみでしたが5、6年前から東海地方でも見られ、3

年前に海上の森で見つけた時には感激しました。

オナガアゲハ：食草のククサギがコース内には無いのに時々見かけました。私たちが知らないところにククサギあるのでしょうか。このようにちょうの種類から森に生えている植物が類推できます。ルリシジミ：6月3日に異常発生し、四つ沢付近道で沢山集まり水を吸っていたのが印象的。このようにちょうやガは時々異常発生します。原因不明で自然の不思議の一つでしょう。



ルリシジミ



ヒメウラナミジャノメ



コムスジ

**この人!****海上の森への想い よりあい工房ばんどり 酒井立子さん**

こんにちは、「りこねえ」です。海上の森へようこそ。

こんなふうにあいさつするようになってから、もう丸3年になります。3年前の今ごろ、愛・地球博瀬戸会場の里の自然学校では、毎日200人以上のお客さまを里山遊歩ゾーン（現在のムーアカデミー遊歩施設）へご案内していました。185日間のプログラム参加者は3万人以上になりました。

海上の森が静けさをとり戻した今も、私は、万博を共に過ごした仲間たちと一緒に「森の楽校」というイベントを運営しています。愛・地球博で行なっていたプログラムをアレンジして、里山の自然や暮らしを体験するものです。7月末にも開催され、土から粘土を作ったり、ムササビを探したり、森の1日を楽しみました。

遊歩施設は、全長700mほどのちょっとした散歩道です。でも、その道中は起伏に富み、小さな沢があったり、遠く伊勢湾や北アルプスを臨める

展望台があったりと、見所満載。春になればシデコブシが咲き、秋にはタカノツメの香ばしい香りが森を包みこみます。ムササビやニホンリス、キビタキなどの小動物に会えることだってあります。海上の森へ行ってみたいけれどちょっと自信がないという、森の初心者や小さなお子さん連れにも安心して歩いていただける「はじめましての森」という感じでしょうか。センター本館で配布しているセルフガイドブックを持って歩けば、五感を駆使して全身で森の楽しさを感じてもらえると思います。

私は、自然を好きになることが森や自然を守るいちばんの近道だと考えています。これからも、多くの方がこの森を訪れて、好きになってもらえるような活動を続けていきたいと思っています。

プロフィール 自然の楽しさをオモシロさを伝える自然案内人（インタープリター）。万博の仲間と立ち上げた「よりあい工房ばんどり」が森の楽校を切り盛りしている。海上の森運営委員。

**森のなかま**

みなさん、海上の森にはどんな動物たちが住んでいるかご存知でしょうか？

前ページでご紹介した山本さんが中心となって実施してくださっている植物とチョウの調査の他に、生態系の中で上位に立つ中・大型哺乳類の調査もモニタリング1000で今年6月から始まりました。

彼らは、その多くが夜行性でなかなか姿をみせてくれません。なので、赤外線に反応する自動撮影カメラを海上の森のところどころに5基設置し調査しています。その結果、イノシシだけが写る場所、キツネだけが写る場所、動物ごとにお気に入りの場所があるようでした。また、4種の動物が写る場所もありました。そこは動物たちの共通の通り道なのかもしれません。

★赤外線カメラで撮影された動物たち★



センター職員の随想ルー

かたりべのひと言!

物見山の武田伝説

海上の森の東部に標高327mの小高い山頂があり、この山を物見山という。

多くの人々が訪れるこの山だが、甲斐の武田信玄がこの地で、尾張・三河の計略のため、物見をしたことにその名は由来するという。

奥三河地方から下伊那地方には、武田関連の史跡が数々残っており、当方も福田寺の五輪の塔や下伊那地方の首塚を目にしたことがあるが、この地にまで武田の伝説が残っているとは正直言って驚きであった。

武田氏は、「人は城、人は石垣、人は堀。」のことばでよく知られているとおり、その人身掌握術と強固な組織により有名であるが、そのほかにも、「およそ軍勝五分をもって上となし、七分をもって中となし、十分をもって下と為す。」ということばも残されている。何事も、「過ぎたるは及ばざるがごとし」ということか。(M・G)

イベント・参加者募集 はりもち 集まれ!

★森の教室・親子編(森の自然観察と森の素材を生かした工作)【日時】10月26日(日)【定員】50名【申込期間】8月26日～10月12日(対象:小中学生とその親)

★森の教室・入門編(森の観察と調査)【日時】9月21日(日)(全4回1セット)【定員】50名【申込期間】7月21日～9月7日(小4以上)

★森の教室(技術向上編)【日時】9月28日(日)(全4回1セット)【定員】20名【申込期間】7月28日～9月14日

★調査学習会(海上の森の秋のキノコ)【日時】10月25日(土)【定員】50名【申込期間】8月25日～10月11日

★調査学習会(海上の森の動物)【日時】11月3日(祝)【定員】30名【申込期間】9月3日～10月20日

★ムーアカデミー・セミナー【日時】9月27日(土)(全8回1セット)【定員】30名【申込期間】7月27日～9月13日

編集後記 今年の夏は暑い!!連日の猛暑日に私はもうバテバテです。山口駅からセンターまでの間に溶けてしまいそうな、いや、ジリジリ焦げてしまいそうな暑さです。早く涼しい秋が来てくれないかと、今から待ち遠しく思っています。

展示の目玉

「海上の夏の昆虫」

海上の森で夏にみられる昆虫たち

(カブトムシ、クワガタ、チョウ、トンボ、セミ)を紹介します。



「遊歩施設の展示」

遊歩施設の展示が新しくなりました。

「森のパレット」と称して、森のなかでみられる様々な「色」を紹介した展示です。



★里山のものづくり(森の素材を使った工作)【日時】10月5日(日)【定員】30名【申込期間】8月5日～9月21日(小学生以上)

★海上の森ツアー【日時】11月8日(土)【定員】50名【申込期間】9月8日～10月25日

★森の楽校(五感で感じる森のこえ)【日時】9月28日(日)【定員】50名【申込期間】7月28日～9月14日(小学生以上)

★森の楽校(芸術の秋!森のアーティストになろう)【日時】11月9日(日)【定員】50名【申込期間】9月9日～10月26日(小学生以上)

★遊歩施設プログラム(せともの講座とレンガアート)【日時】11月30日(日)【定員】20名【申込期間】9月30日～11月16日(小4以上)

応募方法:官製はがき、FAX又はE-mailに①イベント名②住所③氏名④年齢⑤電話番号を記入し、申込期限(消印有効)までにあいち海上の森センターへ。申込多数の場合は抽選により決定し結果を通知します。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成20年8月20日

〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1

TEL 0561-86-0606 FAX 0561-85-1841

E-mail kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

